

【企業内託児スペース「WithKids（ウィズキッズ）」】

設置者：株式会社ワークスアプリケーションズ

従業員数：5,631名（連結/2016年6月末時点）

主な事業：大手企業向け ERP パッケージソフト「HUE」および「COMPANY」の開発・販売・サポート



（１）運営の概要

保育所の場所	〒107-6020 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 20 階 東京メトロ南北線・銀座線「溜池山王駅」13 番出口より徒歩 4 分 東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」3 番出口より徒歩 2 分		
運営方式	直営		
定員	19 名（従業員枠：19 名、地域枠：- 名） 0 歳児：6 名、1 歳児：6 名、2 歳児以上：7 名		
児童対象年齢	生後 57 日後～就学前まで		
保育時間	（通常保育）平日朝 8：00～20：30 （一時保育）平日朝 8：00～20：30 / 当日申込可 土日祝祭日や夏季、年末年始等の会社指定休日を除く。		
利用料金	（通常保育）30,000 円/1 ヶ月 別途延長料金なし、食事、衣類、オムツ代等込 （一時保育） 2,000 円/1 日 別途延長料金なし、食事、衣類、オムツ代等込		
共同設置・共同利用の有無	無		
職員体制	マネジメント 1 名、保育士 5 名（保育士比率 100%）、看護師 1 名、管理栄養士 1 名、その他調理担当を増員予定		
保育室面積	79.25 m ² （施設全体 192.38 m ² ）		
整備（設置）費用 見込でも可	助成費用 見込でも可	非公開	非公開
年間運営費用 見込でも可	年間助成費用 見込でも可	非公開	非公開

（２）設置までの流れ

設置までの検討期間	平成 28 年 3 月～平成 28 年 12 月
整備費申請年月日	平成 28 年 8 月 26 日
運営費申請年月日	平成 28 年 12 月 26 日
整備費採択年月日	平成 28 年 11 月 14 日
運営費採択年月日	平成 29 年 3 月 16 日
工事期間	平成 28 年 9 月～平成 28 年 11 月
開設年月日	平成 28 年 12 月 14 日

（３）設置のきっかけ・背景・理由

『プロフェッショナルだからこそ、フレキシブルな保育を～「カイシャ de 子育て」という新しい発想～』
“会社で子どもを育てていく”という概念のもと、当社の社員自らが考えた施策が、自社運営の企業内託児ス

ペース「WithKids」です。子どもを持つ優秀な女性社員が、他の社員と同じようにキャリアを描いていける環境を目指しました。

当社は、多国籍社員も全体の約4割と増えてダイバーシティ化が進む中で、出産後の職場復帰時には年俸15%の復帰ボーナスを付与する、小学校6年生までの時短勤務が取得できる等、これまでも優秀な社員が安心して働き続けられる環境として、さまざまな制度や仕組みを整えてきました。それでもなお、働き続けづらさを生む問題の一つに、育児との両立がありました。単に保育所不足だけでなく、母親としては可能な限り、幼い我が子を自分の手で育てたいという思いもあります。そこで、社内に保育施設をつくれれば、仕事に集中したいときは施設に預け、休憩の間は社内にいる子どもと一緒に遊んだり、時には側に子どもを座らせながら仕事ができたりと、仕事と育児もどちらも自分でできる環境がつかれるのではないかと考えたことがきっかけです。働き方だけを変えても子育てのあり方が変わらなければ、女性の抱える問題を解決することはできません。だから、「カイシャ de 子育て」を実現したい、というのが当社の思いです。

(4) 設置までのプロセス

社内における意思決定のプロセス

きっかけは、当社CEOの一言から始まりました。「家の近隣の保育所に子どもを預けることが本当にベストなのか？子育てをしながら思いっきり仕事ができる“新しい働き方”を実現することはできないのだろうか。」その投げかけを受け、子育て中の女性社員から未婚の男性社員まで、約50名の社員が有志で集まり、理想の「カイシャ de 子育て」を考えるプロジェクトが発足しました。それを実現したのが、「WithKids」です。

従業員のニーズの把握や利用者の見積りについて（地域枠の設定・規模の検討を含む）

社員全員にとって最適な環境をつくるため、託児スペースに関する要望や仕事と育児の両立における現在の課題など、複数回のアンケートを実施したり、それらをもとに作成した企画書を共有することで、より多くの社員の考えや意見を掘り下げて集めていきました。また、産休・育休中の社員に対しては個別に利用希望時期のヒアリングや意見交換会等を行ったりと、社員の声をくみ取って「WithKids」のサービス内容を整えました。

土地、場所の確保について

近年の社員数増加に伴い、東京都内の2拠点を本社オフィス1拠点に統合し、オフィスフロアを増床するのを機に、託児スペース「WithKids」を設置いたしました。

設置方式の選択について

単独設置となります。

自治体との連携について

東京都が実施する認可外保育施設設置者向け説明会等へ参加しました。また、個々の細かな基準や不明点・疑問点については、東京都の担当の方へ直接ご相談をして、アドバイスをいただきました。安心・安全を絶対基準にした上で、従来の概念に縛られずに新しい保育のあり方をつくろうとしているのが「WithKids」です。その点、企業主導型保育事業は新事業でもあり、柔軟に対応いただけたのが良かったと思います。

保育士の確保方策について

大事な社員の子どもと一緒に育てる優秀な保育士の方にも、能力を発揮して働いてもらいたいと思い、当社の社員として直接雇用することに決めました。優秀な人材に対し、それに見合う報酬を支払うのは当然のことで

あり、保育士の募集にあたっては社員と同水準の待遇を用意しました。(スタッフ職：月 30 万円～、マネジメント職：月 60 万円～)おかげさまで、オープニングスタッフの募集では、年度途中の時期ではありましたが、500 名を超える応募をいただきました。

上記のほか、特に留意した事項や工夫・苦心した事項 等

優秀な人材が働き続けられるようにするため、問題解決に企業が取り組むことは人材投資であり、だからこそ「WithKids」を開設しました。そのため、ワーキングマザーの理想を実現するサービスを提供するにあたり、施設運営を委託するのではなく、自社で行うことに決めました。(サービス・保育内容は(5) 参照)

当社は保育事業とはまったくの異業種で、自社で運営するということ自体がチャレンジでした。保育施設としての設置基準をクリアするため、ひとつ一つ手探りの中で解決していきました。特に、安心・安全を第一に保育の質を確保するために、経験の豊かな保育士をスタッフとして迎え、保育士比率 100%を実現しました。また看護師・管理栄養士も専属スタッフとして雇用することで、サービスの充実を図りました。

苦心した点としては、港区という土地柄のためか、徒歩圏内の近隣に小児専門の先生を見つけられなかったことです。そこで発想を変え、車で数分以内と範囲を広げて探すことで、良い先生にめぐり合うことができました。

(5) 保育施設の運営について

保育施設の特徴、取り組んでいる保育内容

「親子で幸せごはんタイム」

- ・「WithKids」では、子どもの食事だけではなく、大人の食事も提供します。管理栄養士が作る栄養満点で家庭的なごはんを、親子一緒に食べることができます。
- ・また、昼食だけではなく夕食も提供することで、帰宅後の夕食の準備、片付け、お風呂、寝かしつけといった忙しい親の負担を軽減し、ゆとりある時間を提供します。

「社員みんなで“1日先生”」

- ・多国籍な社員が特技を活かし、英語やプログラミング、各国の遊戯等、バラエティ豊かな授業を行い、子どもたちの成長を刺激します。

「手ぶらで通勤」

- ・「WithKids」であれば、一般的に通園に必要なおむつや着替え、シート等、大量の重い荷物を持つての通勤はさせません。必要なものはすべて「WithKids」が用意することで、通勤や洗濯等の家事の負担を軽減します。

「保育時間を自由に選択できるフレキシブルな保育」

- ・延長保育の概念がないため、追加料金が発生することなく、保育時間を柔軟に選択できます。その日その時のニーズに合わせて、預かり時間を柔軟に対応することで、生産性の高い働き方が実現できます。
- ・当社は裁量労働制/フレックス制を導入しているため、子どもと一緒にゆとりを持った出退勤が可能です。

「当日申込でもOK!一時保育」

- ・空枠を活用し、当日駆け込みの一時保育も受け入れています。申込や準備の手間なく簡単に予約ができるため、「子どもは元気なのに園が学級閉鎖で預け先がない」「夕方に重要な会議が入り、お迎えに間に合わ

ない」といったワーキングマザーの悩みを解決します。

その他、自社運営だからこそ、ワーキングマザーにとっても嬉しいさまざまなサービスの提供を目指しています。利用者と保育士がともに当社の社員であるメリットを最大限に活かし、社員全員で「一緒に創りあげる」託児スペースを実現していきます。

例) 看護師による母乳相談や母乳マッサージサービスの提供、管理栄養士による離乳食教室の実施 等

加算：預かりサービス加算

従業員と地域の利用者の声

利用者からは、『子どもと仕事の時間のバランスを取りやすくなった』や『子どもと関われる時間が増えた』、『「WithKids」がなかったら、このタイミングで職場復帰をすることはできなかったので助かった』という声や、プレママ・パパ社員にとってはプレ子育ての機会になることで、子育てへの理解醸成にも寄与しています。

- ・『子どもと一緒にいる時間と働く時間に、どう折り合いをつけるかにいつも悩んでいました。近隣の保育園にはお迎え時間にも制限があって、どうしても送迎時間優先の勤務になりがちでした。ただ、私たちママは、毎日、同じ労働や同じ子育てを繰り返しているわけではありません。世間一般に言われるような、働き方を自由にするのならば、ママにとっては保育環境も自由に選べなければ両立しないと思うのです。「WithKids」によって、働く場所と保育をする場所が一緒になることで、時間のバランスを非常にとりやすくなったと思っています。もう、保育園の分刻みの延長料金を気にしながら走って帰る、なんてことはありません。そして何より、ママと子どもがいつでも一緒にいられるという環境が嬉しいです。』
- ・『まだ子どもはいないが、先輩のお子さんに会いに「WithKids」に行ってみて子育てされている様子を実際に側で見ると、自然と「自分が親になったら、こんな風に見えるかな」とか、逆に「子育てってこういう時が大変なんだ」と、子育てをしながら働くということを肌身で理解できました。また、自分もプレ子育てができて、なんだかとても勉強になります。』
- ・『出産後、なかなか見つからない保育園を探すことにフラストレーションを感じてしまっていました。また、これまで10年以上のキャリアがあって、働いていることが私の日常でもあった分、これまでの日常と子育てを妥協したくはありませんでした。「WithKids」があることで、望み通り1年足らずで職場復帰ができて本当に助かりましたし、感謝しています。』
- ・『実際、ママひとりでの子育ては大変で、それを会社がサポートしてくれるのは非常に助かる。また私もそうでしたが、子どもを持つまでは、出産後も働き続けたいのか育児に専念したいのか、わからないのがママだと思う。その点、出産育児休暇を3年間取得できることや待機児童問題に悩まなくてよい「WithKids」など、いろいろな選択肢が取れる環境があるのはありがたい。』
- ・『いつもは、奥さんに保育園へのお迎えを任せてしまっていたのですが、「WithKids」の一時保育を利用することで、今まで以上に自分も子どもに関われるようになりました。仕事のスキマ時間を見つけては、ちょくちょく子どもに会いに行っています。』

(6) 現在の課題と今後の取り組み予定

オープン直後はスモールスタートから始めましたが、開設から数ヶ月を迎え、おかげさまで社内からも大好評です。より一層のサービスの充実を図るとともに、4月の入園時期に合わせ、受け入れの増加・本格稼働を図っていきたいと考えています。

(7) 従業員への子育て支援を進めようとしている他社へのメッセージ

この「WithKids」は、当社にとって人材投資です。社内の保育施設によって、保育のあり方が変わり、新しい働き方が実現することで、企業は大切な資産である優秀な女性社員を守ることができ、また働きたい女性は安心して働き続けることができます。さらに、子どもは親と多くの時間を一緒に過ごしながらか成成長できますし、保育スタッフも自分の価値を最大限に発揮し活躍の場を広げることができます。そう考えると、十分に投資対効果はあります。

人材こそ、企業にとってすべてです。これまで個人に負担を押し付けていた、待機児童問題の解消や女性の活躍推進を図るためには、企業こそが積極的に行動を起こすべきだと思います。まだまだ、当社もチャレンジの連続ですが、社内に保育施設の設置を検討する企業がいらっしゃいましたら、当社でお役立ちできることがあれば幸いです。

